

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第4週の発生動向

麻疹（全数把握対象）の報告が宮崎市保健所から1例あった。患者は20歳代でワクチン接種歴はなかった。海外渡航歴有り。（2012年9月以来の報告、2013年報告なし）

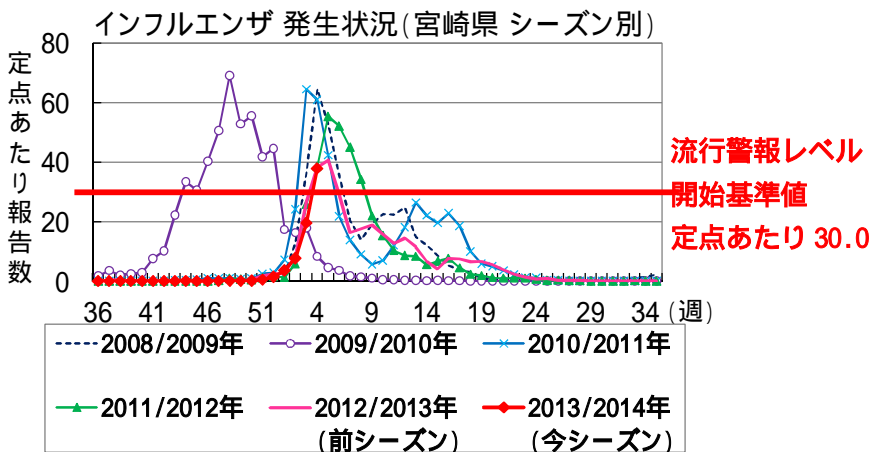
定点医療機関からの報告総数は3,269人（定点あたり69.1）で、前週比144%と増加した。前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、RSウイルス感染症、手足口病で、減少した主な疾患は流行性角結膜炎であった。

インフルエンザ・小児科定点からの報告

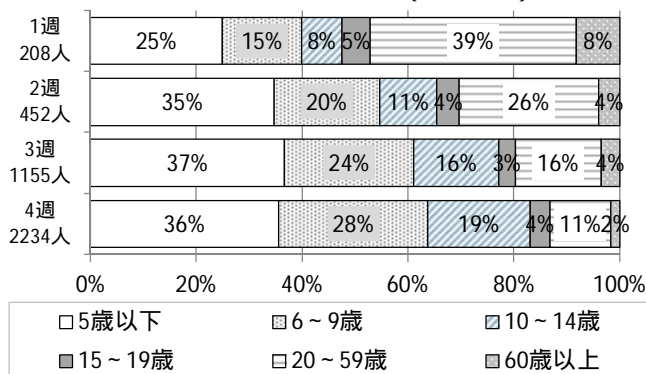
【インフルエンザ】

・報告数は2,234人（37.9）で前週比193%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*（38.5）と同程度である。延岡（70.9）、宮崎市（49.8）保健所からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の36%、6～9歳が28%、10～14歳が19%、15～19歳が4%、20歳代～50歳代が11%、60歳以上が2%を占めた。

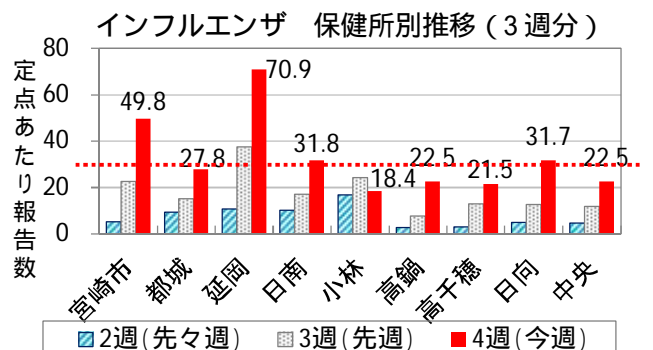
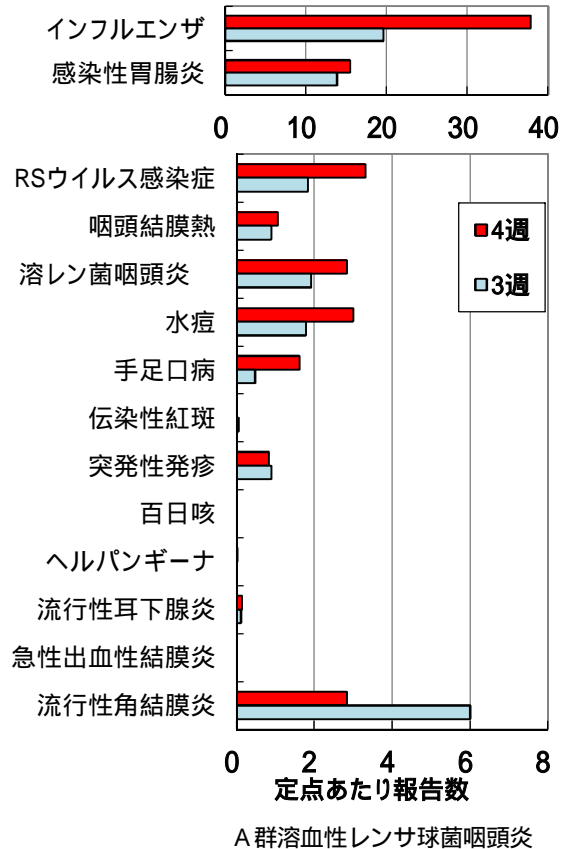
* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値



年齢群別割合の推移 (1~4週)

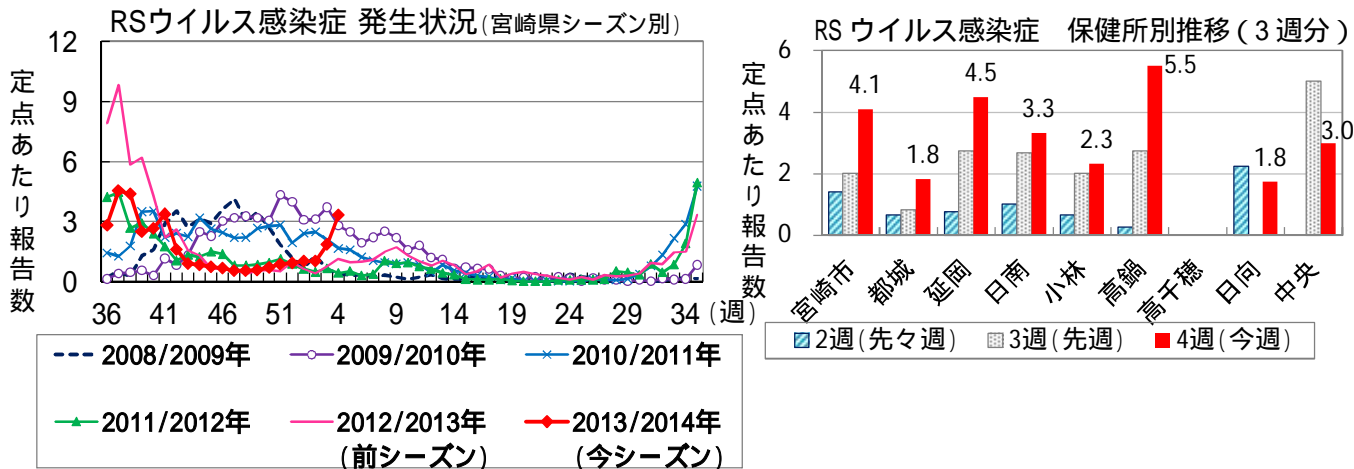


(前週との比較)



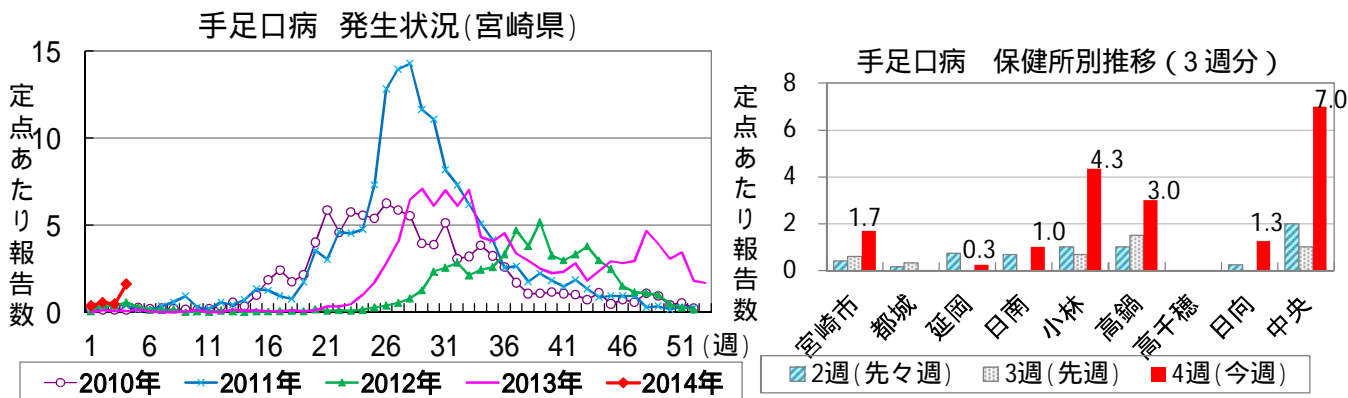
【RSウイルス感染症】

・報告数は 119 人 (3.3) で前週比 180%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値* (1.3) の約 2.5 倍である。高鍋 (5.5)、延岡 (4.5) 保健所からの報告が多く、年齢別では 6 ヶ月未満が全体の 18%、6-11 ヶ月が 25%、1 歳が 40%、2 歳以上が 17%を占めた。



【手足口病】

・報告数は 58 人 (1.6) で前週比 341%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値* (0.2) よりかなり多い。中央 (7.0)、小林 (4.3) 保健所からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 3 歳が全体の約 8 割を占めた。



基幹定点からの報告

細菌性髄膜炎:宮崎市保健所管内から 1 人報告された。患者は月齢 0 ヶ月で、*Streptococcus agalactiae* が検出された。

流行警報レベル開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(49.8)
都城	なし
延岡	インフルエンザ(70.9)、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(9.0)
日南	インフルエンザ(31.8)、感染性胃腸炎(43.3)
小林	感染性胃腸炎(24.7)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	インフルエンザ(31.7)
中央	水痘(8.0)、手足口病(7.0)

* 流行警報レベル開始基準値 *

- ・インフルエンザ(30.0)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・水痘(7.0)
- ・手足口病(5.0)

全数把握対象疾患

- 1 類感染症： 報告なし。
 2 類感染症： 結核 3 例。
 3 類感染症： 報告なし。
 4 類感染症： 報告なし。
 5 類感染症： 後天性免疫不全症候群 1 例、麻しん 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	病型	症状
2類	結核	日南	80 歳代	その他の結核 (結核性胸膜炎)	咳、痰、発熱、呼吸困難
		小林	70 歳代	その他の結核 (結核性胸膜炎)	胸水
		中央	90 歳代	肺結核	なし
5類	後天性免疫不全症候群	宮崎市	50 歳代	AIDS	指標疾患：ニューモシスティス肺炎
	麻しん	宮崎市	20 歳代	麻しん(検査診断例)	発熱、発疹、結膜充血、コプリック斑、腸炎 ワクチン接種歴なし、海外渡航歴あり

病原体情報（衛生環境研究所微生物部 2014 年 1 月 26 日までに検出）

ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状等	検出材料	検出日
インフルエンザ AH3 型	5	女	2014.1.14	インフルエンザ A、38.0、咳、鼻水	咽頭ぬぐい液	2014.1.20
インフルエンザ AH3 型	10	女	2014.1.15	インフルエンザ A、38.0	鼻汁	2014.1.20
インフルエンザ AH3 型	小学2年	女	2014.1.14	インフルエンザ A、38.3	鼻腔ぬぐい液	2014.1.16
インフルエンザ AH3 型	小学2年	男	2014.1.15	インフルエンザ A、38.0	鼻腔ぬぐい液	2014.1.16
インフルエンザ AH3 型	小学2年	男	2014.1.15	インフルエンザ A	鼻腔ぬぐい液	2014.1.16
インフルエンザ AH3 型	2	男	2014.1.15	インフルエンザ A、39.7、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2014.1.20
インフルエンザ AH3 型	5	女	2014.1.15	インフルエンザ A、38.5、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2014.1.20
インフルエンザ AH3 型	5	男	2014.1.15	インフルエンザ A、38.0、上気道炎、気管支炎	鼻汁	2014.1.20
インフルエンザ AH3 型	2	男	2014.1.18	インフルエンザ A、39.0、上気道炎、クループ様咳	鼻汁	2014.1.24
インフルエンザ AH3 型	9	女	2014.1.21	インフルエンザ A、38.8、鼻水、頭痛	咽頭ぬぐい液	2014.1.24
インフルエンザ AH1 pdm09 型	4	男	2014.1.16	インフルエンザ A、40.0、上気道炎	鼻汁	2014.1.20
インフルエンザ AH1 pdm09 型	3	男	2014.1.21	インフルエンザ A、38.6、上気道炎	鼻汁	2014.1.24
インフルエンザ B 型(山形系統)	9	男	2014.1.16	インフルエンザ B、38.8、関節痛、筋肉痛	鼻汁	2014.1.20
インフルエンザ B 型(山形系統)	9	女	2014.1.20	インフルエンザ B、40.1、上気道炎	鼻汁	2014.1.24
インフルエンザ B 型(ビクトリア系統)	10	男	2014.1.21	インフルエンザ B、39.3、鼻水	咽頭ぬぐい液	2014.1.24
インフルエンザ AH3 型、 インフルエンザ B 型(山形系統)	11	女	2014.1.19	インフルエンザ A・B、38.9、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2014.1.22
インフルエンザ AH3 型、 インフルエンザ B 型(ビクトリア系統)	6	男	2014.1.19	インフルエンザ A・B、38.2、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2014.1.22
麻疹ウイルス	20歳代	男	2014.1.23	麻疹疑い、39.0、口内炎、発疹、胃腸炎	咽頭ぬぐい液、 尿、血液	2014.1.23

インフルエンザ A 型と診断された小児 10 名からインフルエンザ AH3 型、2 名から AH1 pdm09 型が検出された。インフルエンザ B 型と診断された小児 2 名からインフルエンザ B 型(山形系統)、1 名からインフルエンザ B 型(ビクトリア系統)が検出された。また、インフルエンザ A、B と診断された小児 1 名からインフルエンザ AH3 型とインフルエンザ B 型(山形系統)が検出され、1 名からインフルエンザ AH3 型とインフルエンザ B 型(ビクトリア系統)が検出された。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると AH3 型の割合が最も多く、次いで AH1 pdm09 型、B 型(山形系統)、B 型(ビクトリア系統)の順で検出されている。一方で、2013 年第 51 週以降 AH1 pdm09 型の検出割合が多くなっており、免疫のない乳幼児は早めのワクチン接種を行うなど予防対策が必要である。

麻疹疑いの成人男性から麻疹ウイルスが検出された。本県では 2012 年に検出されて以来、1 年 4 ヶ月ぶりの検出である。

細菌

報告なし。

全国第3週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は27.7で、前週比116%と増加した。今週増加した主な疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患は水痘と咽頭結膜熱であった。

インフルエンザの報告数は58,233人(11.8)で、前週比214%と増加した。沖縄県(36.7)、宮崎県(19.6)、岐阜県(19.1)からの報告が多く、年齢別では、5歳以下が全体の29%、6~9歳が22%、10~14歳が13%、15~19歳が4%、20歳代~50歳代が27%、60歳以上が5%を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は32,502人(10.3)で、前週比94%と減少した。大分県(22.0)、山形県(15.5)、高知県(15.4)からの報告が多く、年齢別では1歳から4歳で全体の約4割を占めた。

全数把握対象疾患(全国第3週)

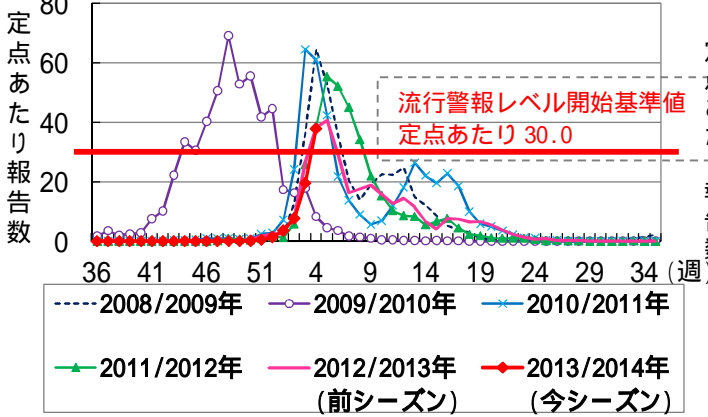
1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	263例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	11例	腸チフス	2例		
4類感染症	A型肝炎	4例	つつが虫病	2例	デング熱	2例
	マラリア	2例	レジオネラ症	14例	レプトスピラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	13例	ウイルス性肝炎	3例	急性脳炎	6例
	クリプトスポリジウム症	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例
	後天性免疫不全症候群	15例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1例
	侵襲性肺炎球菌感染症	27例	梅毒	19例	破傷風	1例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1例	風しん	3例	麻しん	5例

インフルエンザ情報《県内第4週、全国第3週（再掲）》

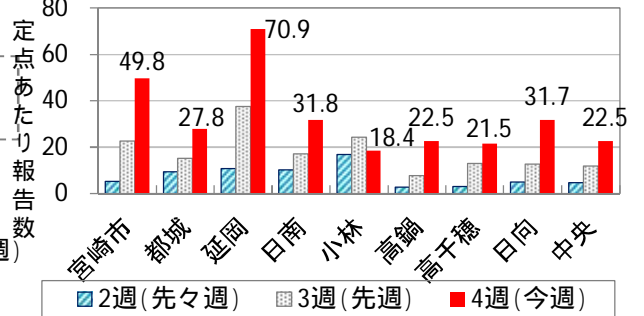
県内第4週インフルエンザ発生動向

平成26年1月20日～1月26日までの1週間で2,234人（定点あたり37.9）の報告があり、前週の約2倍に増加した（図1）。例年同時期の定点あたり平均値（38.5）と同程度である。保健所別報告数を（図2）、年齢群別報告数の推移を（図3）、年齢群別報告数の割合の推移を（図4）に示す。

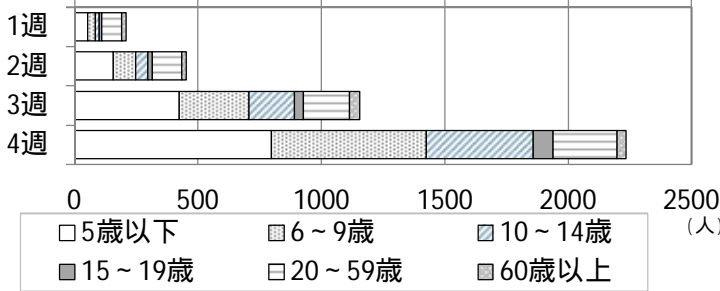
（図1）インフルエンザ発生状況（宮崎県 シーズン別）



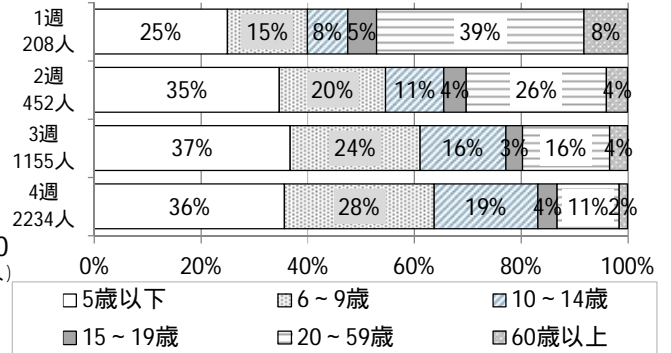
（図2）インフルエンザ 保健所別推移（3週分）



（図3）年齢群別報告数の推移（1～4週）



（図4）年齢群別割合の推移（1～4週）



インフルエンザ 警報・注意報レベル状況

インフルエンザの定点あたり報告数と警報・注意報レベル発生状況

：警報レベル、：注意報レベル、- 警報・注意報レベルなし

保健所	今週 (4週)		1週前 (3週)		2週前 (2週)		3週前 (1週)		4週前 (52週)		5週前 (51週)	
	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況
宮崎県全体	37.9		19.6		7.7	-	3.5	-	1.4	-	0.5	-
宮崎市	49.8		22.7		5.3	-	1.7	-	0.9	-	0.1	-
都城	27.8		15.1		9.5	-	7.7	-	2.4	-	2.3	-
延岡	70.9		37.4		10.9		3.3	-	0.3	-	0.0	-
日南	31.8		17.2		10.2		4.0	-	2.8	-	0.8	-
小林	18.4		24.2		16.8		9.2	-	5.2	-	0.2	-
高鍋	22.5		7.8	-	2.8	-	1.3	-	0.3	-	0.2	-
高千穂	21.5		13.0		3.0	-	2.0	-	0.0	-	0.0	-
日向	31.7		12.5		4.8	-	0.5	-	0.3	-	0.0	-
中央	22.5		12.0		4.5	-	0.0	-	0.5	-	0.0	-

宮崎県全体：警報レベル終息基準値（10）を下回るまで警報レベル継続

保健所別：当該週の定点あたり報告数のみにより注意報・警報レベルを表示

全国第3週インフルエンザ発生動向

平成26年1月13日～1月19日までの1週間で58,233人（11.8）の報告があり前週比214%と増加した。沖縄県（36.7）、宮崎県（19.6）、岐阜県（19.1）からの報告が多く、5歳以下が全体の29%、6～9歳が22%、10～14歳が13%、15～19歳が4%、20歳代～50歳代が27%、60歳以上が5%を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2014年 第04週(01月20日～01月26日)

疾病名		第3週	第4週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1155	2234	796	278	496	159	92	135	43	190	45
	定点あたり	19.58	37.86	49.75	27.80	70.86	31.80	18.40	22.50	21.50	31.67	22.50
RSウイルス 感染症	報告数	66	119	41	11	18	10	7	22		7	3
	定点あたり	1.83	3.31	4.10	1.83	4.50	3.33	2.33	5.50	0.00	1.75	3.00
咽頭結膜熱	報告数	32	38	11	6	4	7	2	4		4	
	定点あたり	0.89	1.06	1.10	1.00	1.00	2.33	0.67	1.00	0.00	1.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	69	102	29	3	36	1	2	3	2	24	2
	定点あたり	1.92	2.83	2.90	0.50	9.00	0.33	0.67	0.75	2.00	6.00	2.00
感染性胃腸炎	報告数	498	556	111	116	35	130	74	39	11	34	6
	定点あたり	13.83	15.44	11.10	19.33	8.75	43.33	24.67	9.75	11.00	8.50	6.00
水痘	報告数	64	108	24	36	5	15	14	3	1	2	8
	定点あたり	1.78	3.00	2.40	6.00	1.25	5.00	4.67	0.75	1.00	0.50	8.00
手足口病	報告数	17	58	17		1	3	13	12		5	7
	定点あたり	0.47	1.61	1.70	0.00	0.25	1.00	4.33	3.00	0.00	1.25	7.00
伝染性紅斑	報告数	2										
	定点あたり	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	32	30	10	3	7	3	1	3		3	
	定点あたり	0.89	0.83	1.00	0.50	1.75	1.00	0.33	0.75	0.00	0.75	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数		1			1						
	定点あたり	0.00	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	4	5		2	2					1	
	定点あたり	0.11	0.14	0.00	0.33	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	36	17	16	1							
	定点あたり	6.00	2.83	5.33	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数	1	1	1								
	定点あたり	0.14	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	2										
	定点あたり	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2014年第1週～4週)

2類感染症	結核	11例(3)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例				
4類感染症	つつが虫病	2例				
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	急性脳炎	2例	後天性免疫不全症候群	1例(1)
	麻しん	1例(1)				

()内は今週届出分、再掲